

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人聖風会
事業所名称	デイサービスセンターはなはた
事業所所在地	東京都足立区花畑4丁目39番10号足立新生苑
事業所電話番号	03-3885-4864

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) 1つ目の柱『人（人材）』～働きやすさと働きがいと～ 2) 2つ目の柱『育成と技術伝承と革新と』 3) 3つ目の柱『地域貢献と発展と』

全体の評価講評

特に良いと思う点

・利用者本人、家族、ケアマネジャーと連携を図り、支援体制を構築している

サービス利用開始前には自宅での利用者からの聞き取りのほか、家族や担当ケアマネジャーより詳細に聞き取りを行っている。アセスメントはフェイスシートから基本情報、通所介護用のアセスメントなど複数の段階にわけて記載している。利用者の生活歴を聞き取ることで、声掛け方法や座席の配置、提供するレクリエーションの個別対応を図ることに繋がっている。アセスメントは介護保険更新時に更新することとしているが、その都度得た情報は手書きで記載し、利用者の情報を深めている。この、継続的なアセスメントにより個別支援の強化に繋がっている。

・通所介護計画に基づくモニタリング結果を職員や担当ケアマネジャーと共有している

モニタリング結果は、各担当職員が「1か月のご様子」として毎月取りまとめ、担当ケアマネジャーに報告している。この書式には通所介護計画内容が転記され、計画に沿ってどのような変化を辿っているかの経過を追うことが可能となっている。特に、健康面で大きな指標となる体重等の情報も掲載され、ケアマネジャーが状態の変化を共有し、次の居宅サービス計画を立案する大きな材料となっている。職員は1か月に1度の会議で利用者の情報を共有し、モニタリング結果を踏まえて、次の支援に繋げるなど、業務水準の向上にも役立っている。

・利用者が興味・関心を持てる活動を提供し、個々が選択した活動に参加している

レクリエーション活動では、ゲームなどを中心に実施している。中でも「寿司食いね～ゲーム」は利用者からの発想である。このゲームは、集中力を養い、値段を計算するなど、計算力や思考力を高め脳の活性化に繋がる。また、選択活動には、川柳や書道の時間もある。特に川柳では、利用者が作った作品を雑誌に投稿しており、その結果、雑誌に掲載された人もいる。職員は、本人に作品が載った本を持ってもらい、記念写真を撮り廊下等に掲示している。これらの評価が本人および他の人々の刺激にもなっており、頑張るって句を考え、担当職員に提出している。

さらなる改善が望まれる点

・「クローバー大学」を地域貢献のための取り組みだけでなく、事業所の広報や職員育成に繋げることを期待したい

事業所は、併設する特養や地域包括支援センターと協同して「クローバー大学」を運営している。コロナ禍で一旦休止していたが今年度6月より再開している。これは、法人が地域貢献の取り組みとして昭和53年より実施してきた取り組みであり、地域住民に向けて福祉施設の職員が講師となり、「カラダがほぐれて、ココロも遊ぶ」をコンセプトに様々な学びの場を提供している。今後はこの取り組みを、施設職員の輝く場所として育成に繋げるとともに、利用者獲得のための広報活動の一環としても位置付け、活用することを期待したい。

・職員は、時間をかけてさまざまなしくみを構築しており、今後は、利用者情報をシステムへ入力するしくみの構築が望まれる

勤続年数が10年以上の職員も多く、一人ひとりの利用者の自立支援に取り組んできただけでなく、現在のしくみや活動内容の構築にも力を発揮してきた。現在、法人では、記録のシステム化を図っており、通所介護計画や支援記録の記入は、ほぼパソコン入力に移行している。ただし、職員の中にはパソコン入力や操作が苦手な職員もあり、一部手書きによる記録も混在していることから、情報の書式などの統一化に欠けている状況もある。今後は、すべての職員がシステムの入力をできるように、標準化を図り支援していくことを期待したい。

•

事業者が特に力を入れている取り組み

・虐待防止に関わるチェックリストを接遇面での対応強化に役立てている

法人は、年2回虐待の芽チェックリストを実施して、職員が虐待防止の意識を持てるように働きかけている。この結果は統計として蓄積し、どのような認識を持って支援しているかを経営層が把握している。虐待防止の観点は接遇にも通じ、職員の声掛けや行動、自分自身の心の変化を意識化でき、接遇面が向上できるようチェックリストを活用している。さらに、全職員が一丸となり、接遇力を高めようと、新たにドライバーに対するチェックリストを策定し、送迎時に地域に対する目も意識したうえで業務を遂行してもらえる体制作りを今年度より着手している。

・利用者の支援を、多職種や関係機関と連携し、実施している

通所介護計画書は、居宅サービス計画書に基づいて作成している。援助内容には健康に関するサービス、日常生活動作に関する支援・機能訓練に関すること、他者との交流などについて明記している。各専門職は、計画に沿って必要な援助を実施し、毎月振り返りを行い、「1月のご様子」という様式にその時々を現状を記録している。様式は6ヵ月の様子を記録できる一覧表となっており、半年後に行うモニタリング（評価）の根拠となる。モニタリングでは、それをもとに現状と要因を分析し、各職種に対しての新たな援助目標を掲げ、具体的な支援に繋げている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

47/86

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	91.0%	6.0%	いいえ：2.0%	無回答・非該当：0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	89.0%		どちらともいえない：4.0%	いいえ：4.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	76.0%	14.0%	いいえ：4.0%	無回答・非該当：4.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	87.0%	8.0%	いいえ：2.0%	無回答・非該当：2.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	80.0%	10.0%	6.0%	いいえ：2.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	97.0%		どちらともいえない：2.0%	いいえ：0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	97.0%		どちらともいえない：0.0%	いいえ：2.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	87.0%	8.0%	どちらともいえない：2.0%	いいえ：2.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	70.0%	25.0%	どちらともいえない：2.0%	いいえ：2.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	95.0%		どちらともいえない：2.0%	いいえ：2.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	78.0%	8.0%	8.0%	いいえ：4.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	80.0%	6.0%	8.0%	いいえ：4.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	78.0%	10.0%	10.0%	いいえ：0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	74.0%	19.0%	どちらともいえない：4.0%	いいえ：2.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	57.0%	8.0%	6.0%	27.0%